

令和7年4月25日

報道機関各位

長岡市水道局業務課長



～100年先を見据え水道経営のあり方を議論～
**持続可能な長岡水道のあり方に関する懇話会
が意見書を提出します**

令和8年に長岡市の水道は事業開始から100年を迎えます。

市水道局では、令和6年度に「持続可能な長岡水道のあり方に関する懇話会」（座長：鯉江康正長岡大学名誉教授）を設置し、次の100年を見据え、人口減少社会における水道事業経営のあり方を検討してきました。

このたび、1年にわたる検討を取りまとめた意見書を市に提出します。

経済や水道の専門家や生活者の目線から、能登半島地震を背景に注目されている水道施設の更新・強靱化のほか、水質の安全性や持続に必要な資金の確保など、多岐にわたる提言をいただく予定です。

については、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

第6回持続可能な長岡水道のあり方に関する懇話会の概要

- 日時** 5月7日（水）午後2時から
- 会場** アオーレ長岡東棟4階 大会議室
（長岡市大手通1-4-10）
- 参加者** ・懇話会委員
（経済、経営、水道の専門家や子育て世代など6人）
・渡邊副市長
・水道局長
- 内容** ・検討内容の振り返り
・鯉江座長が副市長に「意見書」提出
- その他** 会場や資料準備の都合のため、取材いただける場合は事前に下記担当までご連絡くださるようお願いいたします。

問い合わせ：水道局業務課 上村
TEL 0258-38-8550